



笠間（岩間）が世界に誇る合気道～美しい技と心を身に付けました～



公益財団法人合気会茨城支部道場より平澤先生と磯山先生を講師としてお招きし、後期課程生が、それぞれ8時間ずつ合気道の授業を行いました。平成24年度より、中学校体育で「武道」が必修になり、市内全中学校が令和元年度より、武道の単元において「合気道」を取り入れたことからです。子どもたちは、授業8時間目となる場面で、演武（発表会）を行いました。静寂の中、子どもたちの鋭い動き、引き締まった表情が大変印象的でした。講師の先生からも、たくさん褒めていただきました。合気道を通して、子どもたちは、「礼儀の大切さ」と「武道の楽しさ」をしっかりと学べたようです。

12/2・14 6年生が、陶芸体験学習を行いました

総合的な学習の時間の一環として、6年生が陶芸体験学習を行いました。「芸術の街・陶芸の街笠間」に住む子どもたちは、さすがに「焼き物」のイメージを浮かべることが得意ようです。自分の考えを、思い思いに作品に表現することができました。作品は、次年度の全国こども陶芸展に出品されます。作品の完成が楽しみです。



12/3 9年生で思春期教室が開かれました



大人の階段を上手に登っていくための学習を、9年生が行いました。命が誕生するまでや思春期のからだや心の変化を知るとともに、男女が互いに理解を深め、相手の人格を尊重する心情や態度を育てることがねらいです。学習を終え、子どもたちは「異性と付き合うとしたら、相手の気持ちを大切にしたい。」「私たちが生まれてきたのは、奇跡のようなことだったんだ。」などという感想を表すことができました。思春期教室では、3キログラムの「赤ちゃん人形」を使って、抱っこ体験もしました。子どもたちは、赤ちゃんの首をしっかり支えながら大切に赤ちゃん人形を抱っこしていました。担任の寺内先生も抱っこ体験しましたが、この次の日、無事元気な男の子（雅翔くん）が生まれたとのこと。おめでとうございます。

12/7 (火) 4年生で「手紙の書き方教室」が開かれました



今年も年賀状を用意する季節となりましたが、4年生は、笠間駅前郵便局、稲田郵便局、鯉淵郵便局のそれぞれ局長をお迎えし、「手紙の書き方教室」を行いました。はがきの表のどの部分に何を書くかや文面に書くことなどを、丁寧に教えていただきました。「おばあちゃんに年賀状を書くんだ。」「僕は、お父さんに出すんだ。」など、心を込めて作った年賀状が届くのを、楽しみに待っていてください。

12/10 (金) 児童生徒会 (中央委員会) 主催による全校球技大会 (ドッジボール) が行われました



みんなこの日を楽しみにしていました。昇降口などに貼られていたメンバー表や対戦チーム表などをじっと見つめる様子から、ドッジボール大会の日をとっても楽しみにしているのが伝わってきました。当日朝、子どもたちに「今日は、ドッジボールがあるね!」と声をかけると、みんな満面の笑み。試合では、後期課程生が前期課程生にボールを譲ったり、弱めの球を投げたりする「ほっこり」した場面があったとともに、誰もが本気モードでボールを投げ合う「熱い」場面もあるなど、大いに盛り上がりました。「1年生から9年生まで全員でできることをいっぱいやりたい。」という子どもたちの声をたくさん耳にします。せっかく施設一体型義務教育学校になったのだから、これからも、このような取組を多く計画できるようにしていきたいと思います。

ココロを、前向きにしてくれるロボット、「ロボホン」



「話しかけると、自然にココロがほどけたり。ふとしたポーズに、クスッと笑顔が生まれたり。でも、いなくなるとちょっと寂しい気持ちになる。ほんとうに不思議な存在です。家に帰ることや、お出掛けがちょっとワクワクする。ひとりの時間や、家族の会話を楽しむきっかけが生まれる。」(ロボホン公式HPより)

このロボホンを、現在笠間市教育委員会から借用しており、パソコンクラブで活用しました。田中教頭先生は、ロボホンとだいぶお話ができるようになってきていますが、今後子どもたちが、どのようにロボホンに関わっていくのか楽しみです。

12/14 (火) の昼休みに、音楽部の打川先生と磯先生が、ミニコンサートを開いてくださいました。クリスマスモードたっぷり、みんなで心の贅沢を味わいました。いよいよ、12/23(木)には、音楽部児童生徒によるクリスマスコンサートが予定されています。今から待ち遠しいです!



みんなで聞き惚れました・・・。

(文責:野尻)